

# 開成校新聞

発行  
開成中等新聞局  
発行責任者 宮崎  
制作者  
嶋海、阿部、小笠原、  
沼津、松原

1/365コマ



秋になると、午後の6時くらいに新聞局の窓から月を眺めることができる。今月は今年で一番大きい満月「スーパームーン」に魅了された。月に代わってお仕置きよ!!!!

## 演劇部が贈るミュージカル

### 半年以上の努力が実った舞台

7月24日に多目的ホールで前期演劇部による「わが星」の校内公演が行われ、多くの先生や生徒が観劇をした。

今回の前期演劇部の演目「わが星」は地球が誕生してから消滅するまでを一人の少女

の人生に重ね、音楽にのせて描いていくミュージカルである。

出演者は、3年の伊勢

義道さん、本家末徠さん、軽木柊馬さん、松沢大葵さん、2年の佐藤袖衣さん、川代幸樹さん、大沢梓さん、鈴木愛彩さんの8人である。

前期演劇部部長の3年本家末徠さんに今回の公演についてインタビューを行った。

**Q1** 普段の練習では、どのようなことを意識しているのですか？

**A1** 体力作りや発声練習など、演劇の基礎となる部分の練習を重点的に行っています。

**Q2** なぜ校内公演を行うことを決意したのですか？

**A2** より多くの人に演劇



▲今回の公演ポスター

を知ってもらいたい、楽しんでもらいたいという思いがあり、公演を行うことにしました。

**Q3** なぜ「わが星」を題材として選んだのですか？

**A3** 顧問の森山先生が資料を持ってきてくれて、その資料を部員みんなで吟味して、難しい作品だけど挑戦してみようという思いでこの公演を決めました。音楽に合わせて演じる劇なので、リズムに合わせた演技や役者が揃わないと練習が難しいことなど心配なことがたくさんありました。外部から講師を招き、本格的に練習をして、「わが星」が完

成しました。

**Q4** いつ頃からこの公演の練習を始めましたか？

**A4** 昨年の12月から約半年以上の時間をかけて準備しました。8月1日から3日まで行われた中文連ではその成果が出て優秀賞を受賞することができました。

**Q5** 公演を終えた感想や思いを教えてください。

**A5** 音楽と演劇という新たな試みだったので、今までにないような常に新しい感覚があつて役者も楽しく演じることができました！

## 落とし物 展示会開催

一学期の終わりと9月の中間報告会に職員室前で落とし物の展示が行われた。生徒支援部の落とし物担当の林詩音先生は一学期の終わりの展示に2、3時間を費やしたという。林先生は「筆記用具の他にも服や給食袋の落とし物が多い」「なんで気づかないんだろう」と疑問を呈した。

また落とし物をする生徒に対して「せめて名前は書いてほしい」と話した。そして今後の展示会では、「自分のものではないものをベタベタと触るのはやめてほしい」と望んだ。



▲校内公演の出演者と裏方のみなさん



▲一学期の落とし物展示会